

平成 28 年 2 月 29 日

研究公開用文書

研究名： Oligometastases 状態の転移性肺腫瘍に対する体幹部定位放射線治療の全国遡及的調査研究
研究の概要： 転移性の悪性腫瘍に対する治療は、従来全身療法を主体として行われてきた。しかし近年になり、少数再発/転移状態の転移性腫瘍では、全身療法に加え少数個の再発/転移部位に放射線治療などの局所療法を加えることで長期生存するという概念が提唱され、そのような病態を oligometastases と呼称している。これまでの報告は主に少数例での検討であり、より詳細な検討が必要とされている。今回、日本放射線腫瘍学会研究課題として、約 10 年間に oligometastases 状態の転移性肺腫瘍に対して定位放射線治療を行った症例を集積し、さらに信頼度の高い治療成績を求め、予後を規定する因子を解析する。 調査項目：年齢、性別、癌の種類、放射線量、総治療期間、化学療法、全生存期間、副作用など 検討項目：治療内容、再発形式、生存率、副作用など 試験デザイン：多施設、遡及的（過去の情報を評価する）、疫学的研究 統計学的方法：生存率、制御率などはすべて、Kaplan-Meier 法を用いて曲線を描き、治療成績への影響因子については、log-rank test を用い、有意水準を 5 % と設定し p 値 0.05 未満で統計学的に有意とする。同時に単変量解析で、Cox 比例ハザード法を用いて、ハザード比も算出する。上記の log-rank test にて有意水準を満たしたものや、p 値 0.20 未満のもの、臨床的に有意な因子を含めて、Cox 比例ハザード法を用いて、多変量解析をおこなう。
研究対象： 2004 年 1 月から 2015 年 6 月までに横浜市立大学附属病院で転移性肺腫瘍（5 個以内）に対して定位放射線治療を施行した 8 例
研究責任者： 横浜市立大学医学部 所属：放射線医学教室 氏名：海津 久
研究実施期間： 平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 8 月 31 日
連絡先： 横浜市立大学医学部 所属：放射線医学教室 氏名：海津 久 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 TEL：045-787-2696 FAX：045-786-0369